

本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 山里に春ぞ来たりける。
- ② この花なむいと美しき。
- ③ 雪降れば、道こそ見えね。
- ④ 月やあらぬ春や昔の春ならぬ。
- ⑤ いづれの山か天に近き。
- ⑥ あはれとぞ君は思すらむ。
- ⑦ 鳥の声なむ夜もすがら聞こゆる。
- ⑧ 命こそ惜しけれ。
- ⑨ 都へや帰るべき。
- ⑩ 風吹けば、花ぞ散りける。
- ⑪ 我こそその人を知れ。
- ⑫ かかることや世にあらむ。
- ⑬ 露ぞ消えにし。
- ⑭ いかでか都を忘れむ。
- ⑮ 月の都の人なむ迎へに参り来る。
- ⑯ 君が代こそ千代に栄えめ。

設問

1. 例文①の係助詞を抜き出し、結びの語の活用形を答えよ。
2. 例文②の係助詞を抜き出し、結びの語の活用形を答えよ。
3. 例文③の「こそ」の結びの語を抜き出し、その活用形を答えよ。
4. 例文④「月やあらぬ春や昔の春ならぬ。」の二つの「や」は、疑問・反語のいずれか。
5. 例文⑤の係助詞を抜き出し、結びの語の活用形を答えよ。
6. 例文⑥「あはれとぞ君は思すらむ。」の係助詞を抜き出し、結びの語「らむ」の活用形を答えよ。
7. 例文⑦「鳥の声なむ夜もすがら聞こゆる。」の結びの語「聞こゆる」の活用形を答えよ。終止形「聞こゆ」と比べて何が変化しているか説明せよ。
8. 例文⑧の「こそ」の結びの語を抜き出し、その活用形を答えよ。
9. 例文⑨「都へや帰るべき。」の「や」の意味を、強意・疑問・反語から選べ。
10. 例文⑩の係助詞を抜き出し、結びの語の活用形を答えよ。
11. 例文⑪「我こそその人を知れ。」の「知れ」は、文法的にどのような活用形か。また、なぜその形になっているのか説明せよ。

12. 例文⑫「かかることや世にあらむ。」を、反語として現代語訳せよ（「～だろうか、いや～ない」の形で）。
13. 例文⑬「露ぞ消えにし。」で、係助詞「ぞ」の結びにあたる語を抜き出し、その活用形を答えよ。また、この文で結びの省略は起きているか。
14. 例文⑭「いかでか都を忘れむ。」の「か」の意味を、強意・疑問・反語から選べ。
15. 例文⑭「いかでか都を忘れむ。」を、反語として現代語訳せよ（「～だろうか、いや～ない」の形で）。
16. 次の係助詞の意味（強意／疑問／反語）を答えよ。
- (1) 例文①「ぞ」
 - (2) 例文⑤「か」
 - (3) 例文⑧「こそ」
17. 「係り結びの流れ（消去）」とはどのような現象か、簡潔に説明せよ。
18. 係助詞「ぞ・なむ・や・か」の結びの活用形と、「こそ」の結びの活用形を、それぞれ答えよ。
19. 次の空所に入る結びの語として正しい活用形のものを選べ。
- 「花ぞ美しく（ ）。」
- (ア) 咲く (イ) 咲き (ウ) 咲け
20. 次の空所に入る結びの語として正しい活用形のものを選べ。
- 「我こそ行か（ ）。」
- (ア) む (イ) め (ウ) まし
21. 次の空所に入る結びの語として正しい活用形のものを選べ。
- 「いづこにか宿は（ ）。」
- (ア) あり (イ) ある (ウ) あれ
22. 係助詞「ぞ・なむ・こそ」に共通する意味は何か、漢字二字で答えよ。